

平成21年度 財団法人静岡県国際交流協会 事業計画

<基本方針>

1. 基本的な方向

年々、日系ブラジル人など外国人住民が増加する中、静岡県では、平成20年12月に「静岡県多文化共生推進基本条例」を制定し、多文化共生施策の総合的かつ計画的な推進による多文化社会の実現を目指すこととしている。

当協会においても平成19年度から事業活動の基本理念を「多文化共生社会を築く」として、様々な事業を展開しているところであるが、今後、県の条例及び県が策定する多文化共生推進基本計画との調整を図りながら、民間の県域を担う協会としての役割を果たしていくこととする。

昨年、米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融危機の影響は、日本の景気後退にまで及び、輸出産業を中心に派遣労働者や期間労働者が解雇されるなど、社会問題化しており、日系ブラジル人などの外国人労働者も就業や住宅確保などの対策が急務となっている。加えて、これらは外国人労働者の家計を圧迫し、南米日系人の子供達が退学を余儀なくされるなど、教育までに影響が及んでおり、当面、県など関係機関と連携し、こうした対策に適切に対応していくこととする。

平成21年6月には、富士山静岡空港が開港するため、東南アジアを中心に観光はもとより国際的なコンベンションやイベント、海外との物流やビジネスなど、様々な分野で新たな展開が期待されている。当協会としても空港を活用した新たな交流事業の創出に取り組む必要があり、そのための検討を進めることとする。

また、我が国の労働人口の減少が危惧される中、国は海外から優秀な留学生を受け入れ、将来の産業を支える人材として育成していくため「留学生30万人計画」を進めているところから、静岡県でも平成21年度から留学生支援のあり方や住居環境整備などについて研究・検討をはじめることとしている。

当協会としても、これまでのふじのくに親善大使などの交流促進事業の経験を踏まえ、こうした研究会等への協力をしながら、引き続き留学生支援に努めることとする。

今後の課題として、平成21年8月末をもって県の旅券事務が浜松市及び静岡市に移譲されるため「印紙・証紙販売事業」は廃止することとなり、これによる収入源の影響を見込んだ予算及び事業計画とする必要があるが、平成20年度の基本財産の運用収入が好調であったことから、これまでの繰越金と合わせて、財源確保が見込めるため、平成21年度は、昨年並みの事業計画が可能となっている。

しかし、平成22年度以降は、不足する財源確保に向けた抜本的な対策が必要であり、基本財産の有効活用などについて、平成21年度の早いうちに県とも調整していく考えである。

平成20年12月1日に公益法人改革に係る法律の施行により、平成25年12月1日までに、当協会も一般財団法人又は公益財団法人に移行する必要があることから、今後、公益目的事業を明確にするとともに、経営基盤としての財源確保、役員選任方針等について、設立者である県とも調整しながら、理事会等に諮り、新法人への早期移行に努めることとする。

2. 平成21年度の重点的な取り組み

(1) 多文化共生への取り組み

当協会は、地域における活動の推進拠点として、また県施策の補完機関としての役割を担うことが必要であり、多様な人々が地域の中で共生できるよう、県、市町や民間では実施困難な事業を推進するものとする。

①多文化共生サポートセンター運営事業【**継続・文化庁委嘱事業**】

②外国人学校日本語指導【**継続 県委託事業**】

③日本語ボランティアセミナー2010の開催【**継続・地域国際化施策支援特別対策事業**】

④外国人のための生活ガイドブック作成事業

【**継続・地域国際化協会等先導的施策支援事業**】

(2) 国際理解教育

環境、開発、人権、平和など地球的諸課題に対する広い視野を持ち、異文化を理解するとともにこれを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や能力の育成を図る。

また、本年度も環境に視点を置き、その負担軽減活動等協会自ら率先して取り組むよう努めていくこととする。

①高校生国際教育セミナー【**継続 自主事業**】

②アース(明日)カレッジ開催【**継続 地域国際化協会施策支援特別対策事業**】

③ふじのくに親善大使事業【**継続 県委託事業**】

(3) 財政の安定化

基本財産の積極的な運用による収入確保を図るほか、基本財産の活用や事業の見直し、経費削減等、健全な財務体質を維持強化していくため、引き続き経営改善と適切な財務管理に努めていくものとする。

(4) 新法人への移行準備

当協会の社会的評価等を堅持するためにもスムーズな移行が求められる。当協会としては、確実に公益認定申請できるよう、最初の評議員の選定方法や定款変更案など移行準備を着実に進めていくものとする。

◇ 県民の国際理解を深める ～地球市民として生きるために～

国際化の進む社会に生きる私たちは、世界の国々の言葉や文化、習慣、ものの考え方などに様々な違いのあることを理解し、認め合い、お互いを尊重しながら生きていかなければなりません。国家や宗教にとらわれずに生きる地球市民として必要なこと、知りたいことを伝えるため、次のようなことに取り組みます。

1 異文化、国際交流、国際協力、国際問題などの情報を発信・提供します。

(1) 各種相談・照会の受付【継続 自主事業】

外国籍住民からの生活相談や県民からの海外留学や国際交流事業などの照会を受け付け、アドバイスを行う。

(2) 情報紙(SIR Joy Press)の発行(毎月)年11回×4,000部【継続 自主事業】

ボランティアとの編集会議(隔月)の開催や情報収集、英語翻訳などを行う。

(3) 図書、ビデオ、国旗等の購入・貸出・閲覧【継続 自主事業】

情報センター機能の充実を図る。

(4) ホームページの充実【継続 自主事業】

ホームページの充実を図り、情報提供を強化する。

情報収集や更新(毎月)を行う。(日本語・英語・スペイン語)

(5) 広報資料の充実【継続 自主事業】

関係資料を体系別に整理し、情報センターとしての機能を強化する。

2 国際理解教育講座や青少年向けセミナーを開催します。

(1) 高校生国際教育セミナー 【継続 自主事業】

県内高校生と留学生や技術研修員等を含む外国籍青年が2泊3日のプログラムを通し、多文化共生社会や多様な文化の魅力について学ぶ。グループ別ディスカッションを中心とし、国別展示ブース、キャンプファイヤー等を行い、相互理解を深める。

- ① 会 場 焼津市石津 焼津青少年の家
- ② 日 時 8月中旬開催(予定)
- ③ 参加者 120名(予定)

(2) アース(明日)カレッジ開催 【継続 地域国際化協会施策支援特別対策事業】

多文化共生社会の実現に向けて、互いの文化的な違いを認める講座を開催する。国際理解教育、日本語教育、外国籍年少者支援に関わる様々な講座、パネルディスカッションなどにより、一人一人が地球市民として、地球規模で物事を考え、自分たちの身近なこととして学び、行動することにつながる講座とする。また、事前にファシリテーター養成講座を開催し、講師のレベルアップに努める。

① 国際理解教育ファシリテーター養成講座

- ア 会 場 水の森ビル9階共用会議室
- イ 日 時 6月開催(予定)
- ウ 参加者 20名(予定)

② アース(明日)カレッジ開催

- ア 会 場 男女共同参画センター 「あざれあ」(予定)
- イ 日 時 11月下旬開催(予定)
- ウ 講座数 3～7講座
- エ 講 師 プログラム実践者(学校教員、NPO法人、JICAの関係者等)
- ウ 参加者 150名(静岡県の国際理解教育に関心のある一般・学校教員)

(3)国際理解を内容とする語学講座(キッズ英会話)事業

キッズ英会話【継続 自主事業】

世界共通語である英語に触れることにより、国際社会に通用する人材を育成する。英会話の習得だけではなく、いろいろな尺度で物事を考えることができるよう外国人講師のこゝと、世界のこゝとを学ぶ機会とする。

- ① 会 場 水の森ビル9階 静岡県共用会議室
- ② 実施時期 通年
- ③ 対 象 幼稚園生、小学生

3 ふじのくに親善大使を派遣し、交流を深めます。

(1) ふじのくに親善大使事業【継続 県委託事業】

県内に在住する外国人留学生20名を親善大使に委嘱する。委嘱後は学校や団体の国際交流事業への参加を積極的に斡旋するとともに、活動を活発にするため、大使への情報提供を行う。

- ① 委嘱式の開催 6月(予定)
- ② ふじのくに親善大使通信の発行(隔月)

(2) 空港活用異文化交流調査事業【新規 自主事業】

ふじのくに親善大使には、帰国後も静岡県のPRとともに静岡県と母国の交流の架け橋としての役割をお願いしているが、帰国後の活動や活躍の状況については、これまで把握したことはなく、その後の静岡県との関わりは殆どない状況にある。

東南アジアとの観光や経済交流が活発になっていく中、平成21年6月には富士山静岡空港が開港することから、東南アジア各国の生活や文化を理解することは今後、益々重要になるものと思われ、空港の利活用促進ともあわせて、当面の就航先でもある中国、韓国を対象に、ふじのくに親善大使を訪問し、これからの相互交流のあり方について調査し事業化を検討する。

なお、今後、空港の利用状況を見ながらベトナム、インドネシアを対象にした事業展開を図る。

- ① 親善大使のフォローアップ

親善大使を個別訪問し、帰国後の活躍状況の確認及び今後の交流事業の意見を聴取、静岡県のPR活動依頼等

② 親善大使との懇談会開催

帰国した親善大使との懇談会を開催し、静岡県民との交流による異文化理解教育事業等の検討、意見交換を行う。(H21年度は可能性調査とする)

- ア 対象国 : 2カ国程度(中国、韓国)
- イ 参加者 : 帰国した親善大使、協会職員、異文化理解講師等
- ウ 懇談内容 : ホームステイ、生活体験、若者同士のプログラム、異文化実践者の研修メニュー、プログラム等の定期的開催の可能性、静岡との留学促進対策の意見交換等

◇外国籍住民を支援する ～自立した地域住民となるために～

外国籍住民が、日本社会の中で自立し、いきいきと生活していくことが地域の安定や発展につながり、良好な国際社会を築くこととなります。このために次のような取り組みを進めていきます。

1 多文化共生サポートセンターを運営します

多文化共生サポートセンター運営事業【継続 文化庁委嘱事業】

外国籍住民の集住地域において、外国籍年少者を対象とした学習支援を行い、子どもの学習意欲を増進させるとともに、学校へ行くことが楽しいと感じられるよう方向付ける。また、地域行事への積極的な参画を通し、地域自治会や行政、外国籍保護者、ボランティアと連携を深め、多方面から子どもの成長支援を行い、多文化共生社会の実現に向けて協力しあう輪を広げていくことを目指す。

- ① 設置場所／富士見台まちづくりセンター(富士市富士見台1丁目100番地)
- ② 実施日時／原則として毎週土曜日10:00～12:00
- ③ 活動内容
 - 日本人ボランティアによる日本語指導や学校の宿題や勉強を教える学習支援
 - 外国人ボランティアによる母語(ポルトガル語・スペイン語)支援
 - 日本人及び外国人ボランティアによる交流活動(日本文化紹介、読み聞かせ等)

○地域行事への参加や住民との交流会の開催

文化祭（10月）さくらまつり（3月）などへの参加

2 外国人学校日本語指導【継続 県委託事業】

日本語の学習環境が不十分な状況にある外国人の子供に対して、日常生活に必要な日本語能力を身に付けるため、ボランティア等を活用したモデル事業としてブラジル人学校へ日本語指導者の派遣を行う。

- (1) 対象者 小学校学齢年齢に相当するブラジル人学校の児童等
- (2) 指導内容 初歩的な日本語やひらがな、カタカナ、基本漢字、発話力
- (3) 対象校 ①富士市 エスコーラ フジ
②菊川市 ソヒゾ デ クリアンサⅡ
③磐田市 エスコーラ オブジェティーボ デ イワタ チア ホーザ
- (4) 効果等 ・日本での生活や進学、就職などで自立した人間形成を促す
・外国人学校所在市町やボランティア等関係者との連携促進

3 語学ボランティアの養成と能力アップを図ります。

(1)外国語通訳ボランティアバンク設置事業【継続 県委託事業】

語学が堪能な県民を「外国語通訳ボランティア」として登録し、組織化と研修等によるレベルアップを行うとともに、通訳ボランティアの活動を促進する。

- ①外国語通訳ボランティアバンク研修会の開催（東・中・西部地区 各1回）
- ②ボランティアバンク通信の発行（年4回）

(2)日本語講師ボランティア養成事業【継続 自主事業】

①日本語講師ボランティア養成事業（文化庁委嘱事業）

本県東部在住の日本語ボランティア及び関係団体の情報共有とネットワークの強化を目指し、連携推進を目的とした研修会を開催する。

- | | |
|-------|------------------|
| ア 会場 | 三島市 |
| イ 日時 | 9月～1月開催（予定） |
| ウ 対象 | 活動中ボランティア向け 初級以上 |
| エ 参加者 | 30名（予定） |

②日本語講師ボランティア養成講座（静岡大学共催）

日本語教育とそれに関連する分野に焦点をあてた講座を開講し、幅広い知識を習得する機会とする。

ア 会 場 静岡市

イ 日 時 10月10日～11月7日 毎週土曜日13：30～16：30（予定）

ウ 対 象 日本語教育従事者等 初級以上

エ 参加者 30名（予定）

(3) 静岡県・日本語ボランティアセミナー2010の開催【地域国際化協会施策支援特別対策事業】

県内の日本語ボランティア及び関係者が一同に会し、多文化共生社会における日本語教育支援の重要性や環境整備について考え、情報交換を図るとともに具体的な手法について学ぶ機会とする。

① 会 場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

② 日 時 1月(予定)

③ 内 容

I 基調講演

II 分科会（第1～第3分科会）

④ 参加者 I 基調講演300名(予定)

II 分科会(①80名 分科会②80名 分科会③80名)(予定)

4 生活相談と情報提供を行います。

(1) 外国籍住民支援アドバイザー設置事業【継続 県委託事業】

①ポルトガル語及びスペイン語ができる相談員を週2日協会に配置し、各種相談に対応する。

②専門家を交えた地域での相談会を開催する。

(2) 外国籍学生等就職支援事業【継続 自主事業】

ホームページ上に外国籍学生等を人材として求める企業の情報を掲載し、外国籍学生の就職と、企業の国際的事業展開を支援する。

5 外国籍住民支援 「外国人のための生活ガイドブック」作成事業

【継続・地域国際化協会等先導的施策支援事業】

外国籍住民が、広く知識を得、関心を高めるとともに困ったときの相談対応機関等などの地域の情報を入手するためのガイドブック(日本語ルビつき・ポルトガル語)を作成する。

- (1) 発行部数 各言語 3,000部
- (2) 内 容 ①地理、観光・レジャー及び文化施設情報
②在留資格、外国人登録及び税金等の行政での手続き関係
③日常生活に関すること
④多言語で可能な医療施設
⑤教育相談窓口
⑥防災時の対応方法 等
- (3) 言 語 日本語ルビつき及びポルトガル語
- (4) 発行時期 9月上旬(予定)

◇県民の国際交流・協力を支援する。～人・ヒト・ひと 国際交流の広がりのために～

私たちがお互いを理解し尊重する気持ちを深めていくためには、草の根レベル、市民レベルで一人ひとりが触れ合い、協力し合うことが必要です。交流、協力の輪を広げるために次のようなことに取り組みます。

1 支援ボランティアの皆様の活躍の場を提供します。

・学外実習(インターンシップ)の受入事業【継続 自主事業】

静岡県立大学、静岡文化芸術大学等の学生を、夏季期間中に2週間程度、学外実習生として受け入れる。

2 草の根交流のサポートをします。

・事業の後援【継続 自主事業】

国際交流関係団体等が行う国際交流・国際協力活動に対し、後援により支援する。

3 独立行政法人国際協力機構(JICA)やNPO、NGO等の関係団体との連携・協力などにより、草の根国際交流、国際協力、多文化共生社会の構築を推進します。

(1) 多文化共生情報ネットワーク構築事業【継続 県委託事業】

市・町国際交流協会や、NPO・NGO等の関係団体との連携・協力の強化を目的とし、情報交換及び研修機能の充実及び職員・関係者の資質向上を図るとともに多文化共生による地域づくりを促進する。

ア 市・町国際交流協会連絡会及び研修会の開催

① 市・町国際交流協会連絡会（情報交換）の開催（1回）

② テーマ別研修会の開催（全3回）

出入国管理施策、生活相談、医療、保険、福祉分野、外国人児童・生徒の教育、NPO等との連携・協働等

イ ホームページによる情報提供

① ダイレクトリーの充実

団体へのヒアリング及び訪問を実施し、新規団体の掲載及び既存団体のデータを常に更新する。

② 相談窓口のリストの充実

県・市や団体へのヒアリングを実施し、生活相談情報を充実させる。

(2) 国際交流等推進支援事業【新規 自主事業】

県内の国際交流・国際理解・多文化共生の推進に寄与する事業に対して支援を行う。

ア 支援対象団体

県内を活動の中心としている民間国際交流団体並びに国際交流・国際理解教育・多文化共生の推進等の活動に取り組んでいる民間非営利団体。

イ 支援対象事業

平成21年4月1日から平成22年3月31日までに県内で実施される国際交流・国際理解教育及び外国人住民支援等に資する重要かつ必要性の高い事業。

ウ 支援金額

支援対象経費の10分の10以内で10万円を上限とする。

エ 支援予定団体

概ね5団体程度

(3) 海外技術研修員受入事業【継続 県委託事業】

開発途上国から技術研修員を受け入れる。

ア 受入期間 平成21年8月～平成22年2月

イ 日本語研修期間 1 か月

ウ 技術研修期間 6 か月

(4)国際協力事業【継続 県補助事業】

移住者支援事業

在外静岡県人会への助成や在外県人高齢者表彰などを行う。

4 旅券センター事業

(1)写真撮影業務（継続 収益事業）

旅券用の写真撮影を行う。

(2)印紙・証紙販売業務（継続 収益事業）

中部・西部の各旅券センターにおいて印紙・証紙を販売する。

※旅券事務の市町への移譲に伴い、中部・西部の売り捌き所を平成21年8月31日に廃止する。

（平成2年3月20日に県から売りさばき人の指定）

◇その他の業務

(1)日本国際連合協会静岡県本部の事務局

○主な事業

外国語講座、国連英語検定、ポスター・作文コンテスト、高校生の主張コンクール等

(2)静岡県海外移住家族会の事務局

○主な事業

機関紙「富士」を発行し会員及び在外県人会へ配付。

（財）海外日系人協会の機関紙を会員へ隔月配付。